

優秀賞の磯村暖氏 (<http://danisomura.tumblr.com/>) は台湾やロンドン、タイなど、国際的に活躍の場を広げています。第 3 期優秀賞の新井健氏は、2018 年秋にワタリウム美術館地下のギャラリー、オン・サンデーズで個展「OUTTASTEP」 (<https://bijutsutecho.com/exhibitions/2532>) を開催しています。ほかにも、中央本線画廊を運営する秋山佑太氏 (<http://yutumn.com/>) ら、新芸術校出身の作家たちは活躍の場を広げています。

(2) 展示概要

【グループ C】ANAGRA Round Trip

参加作家 磯崎祥吾、伊藤由貴、宇留野圭、柏木和士可、小菅玲奈、酒井陽祐、西吉利、村上佳鈴、morika、NIL、TMTMTR

展示期間 2018 年 12 月 1 日 (土) ~ 12 月 9 日 (日)

※12 月 8 日 (土) は講評のため終日休廊となります。

会場 ゲンロン カオス*ラウンジ 五反田アトリエ
〒141-0022 東京都品川区東五反田 3-17-4 糟谷ビル 2F Tel: 03-5422-7085

開廊時間 平日 15:00-20:00、土日祝 13:00-20:00 (講評会実施日を除く)

website <http://chaosxlounge.com/wp/archives/2422>

講評会日時 2018 年 12 月 8 日 14:15~17:30 ※会場参加は受講生のみとなります。

講評会ゲスト講師 宇川直宏氏

講評会生放送番組 URL <http://live.nicovideo.jp/gate/lv317094744>

展示ステートメント

仮想と AI が地上を覆い尽くす頃、ドローンは空を飛び交い、アーティストは月へ行くのだという。ネットワーク上のイメージや言葉は欲望への感染力を洗練させ、細かく隔たれ並んだ心的空間で消費され消えていく。現在この国の地上で聞こえる喧騒や軋みは、じき地面に途方もない穴が空く予兆のように響く。

私たちは「穴蔵」を造ることにした。入り口は小さく、覗くと暗い。冷たい水が滲み出たり、妙なものが棲み付いたりしているかもしれない。古く日本の穴蔵は災害から大事なものを守るために作られていた。そして、近代的な金融システムの成立と共に作られなくなったと言われる。

私たちはこの穴を埋めてしまうこともできる。そこに何もなかったかのように。それでも私たちは掘った。大事なものを蓄え、ここで消費していく。そうすることでしか、地上での輪郭を保ち続けることができなくなってしまったからだ。

ここに「穴蔵」への往復切符を用意した。確かな灯りは設置していないが、手触りが道を示すはずだ。私たちからあなたへ。あなたから私たちへ。そして迷いながら片道切符しか持たずに消えていった全ての魂へ。これはレクイエムではない。「穴蔵」で火を焚いて、反撃の狼煙を上げているのだ。

NIL & TMTMTR

[ハッシュタグ]

#穴蔵周遊

#anagra_gcls4d

(3) ゲンロン カオス*ラウンジ 新芸術校第 4 期最終講評会予定

実施日 2018 年 3 月 2 日 (土)

審査員 岩淵貞哉氏、津田大介氏、和多利浩一氏、黒瀬陽平氏

(4) 主 催 、 協 力 、 お 問 い 合 わ せ な ど
主 催 株 式 会 社 ゲ ン ロ ン 協 力 合 同 会 社 カ オ ス ラ
新 芸 術 校 公 式 サ イ ト <http://school.genron.co.jp/gcls>
新 芸 術 校 公 式 フ ェ イ ス ブ ッ ク <https://www.facebook.com/genrongcls>
新 芸 術 校 公 式 ハ ッ シ ュ タ グ # 新 芸 術 校
お 問 い 合 わ せ E-mail: info@genron.co.jp Tel: 03-6417-9230 (担当上田)